

◆ 在宅生活の継続が困難になるのは、身体介護量（特に排泄ケア）が増大する「要介護3以上」と考えられていることから、要介護3以上の認定者の居所（在宅、施設など）をサービス利用割合から分析することにより、地域のケアバランスの特性を把握することができます。

認定者における各サービス利用比率(ケアバランス)(要介護3以上・市区町単位) 平成26(2014).3⇒平成27(2015).3

データ：広島県EMITAS-Gシステム

■ 在宅サービス(右記ショートステイを除く) ■ ショートステイ15日以上 ■ 施設, 居住系サービス ■ 入院 ■ その他

